

受験者の皆さんへ

重 要

令和6年度
(2024年度)

入学手続案内 (AO入試・一般選抜)

合格者発表から入学手続までの期間が短く、時間的な余裕がありません。詳細をあらかじめ熟読のうえ、必ず保護者等にも読んでいただき、手続きしてください。

入試区分		対象学部	入学手続期間 <最終日郵送必着>
AO入試	Ⅱ期	文学部・教育学部・法学部・ 理学部・医学部・歯学部・ 工学部・農学部	12月11日(月)～14日(木)
	Ⅲ期	全学部	令和6年(2024年) 2月13日(火)～19日(月)

入試区分		入学手続期間 <最終日郵送必着>
一般選抜	前期日程	令和6年(2024年)3月12日(火)～15日(金)
	後期日程	令和6年(2024年)3月25日(月)～27日(水)

【注】上記手続期間の最終日までに、「入学手続書類」を封入した書留郵便が本学に到着しない場合は、入学を辞退したものとみなし、いかなる理由があっても、その後の入学手続は一切認めません。また、「入学手続サイトでの登録」だけでは入学が認められませんので、注意してください。

東 北 大 学

目 次

1	合格者発表の方法	1
2	入学手続期間	1
3	入学手続のながれ	2
4	入学手続の方法	3
5	入学料及び授業料	6
6	入学料免除及び授業料免除等	6
7	入学手続等に関する照会先	8
8	追加合格者への通知及び入学手続	8
9	その他	
(1)	入学辞退の手続	9
(2)	行事及び授業	9
(3)	大学卒業（中退）者の既修得単位の取扱い及び外国語技能検定試験等における単位認定の取扱い	9
(4)	麻しん（はしか）ワクチン接種について	10
(5)	個人情報の取扱い	10
(6)	東北大学全学教育科目 初修語の履修希望について	10
(7)	個人用パソコンの準備について	13

1 合格者発表の方法

下記日時に、合格者の受験記号番号を、以下のサイトに掲載します。

ウェブサイト

<https://daigakujc.jp/tohoku/>



- ※ パソコン、スマートフォン、携帯電話等のいずれからもアクセス可能です。
- ※ 各入試によって掲載期間が異なりますのでご注意ください。

合格者の受験記号番号の掲示発表は、行いません。

合否の問い合わせには、一切応じません。

合格通知書は後述の入学手続サイトでダウンロードすることができます。

<AO入試>

- II期（文学部・教育学部・法学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部）
—11月24日（金）午後5時（予定）
- III期（全学部）—令和6年（2024年）2月12日（月）午後5時（予定）

<一般選抜>

- 前期日程 ————令和6年（2024年）3月9日（土）午後3時（予定）
- 後期日程 ————令和6年（2024年）3月22日（金）午後1時（予定）

2 入学手続期間

入学手続は、入学手続サイトでの登録後、入学手続書類の郵送が必要です。手続は下記日程で行いますので、それぞれの期間中に書留郵便が本学に到着するように入学手続書類を郵送してください。

なお、入学手続期間の最終日までに、入学手続書類を封入した書留郵便が本学に到着しない場合は、入学を辞退したものとみなし、いかなる理由があっても、その後の入学手続は一切認めません。

入試区分		入学手続期間 (※は入学手続サイトでの登録期間)
AO入試	II期	12月11日（月）～14日（木）（郵送必着） ※11月27日（月）午後1時～12月14日（木）午後5時まで
	III期	令和6年（2024年）2月13日（火）～19日（月）（郵送必着） ※令和6年（2024年）2月13日（火）午前9時～19日（月）午後5時まで

入試区分		入学手続期間 (※は入学手続サイトでの登録期間)
一般選抜	前期日程	令和6年(2024年)3月12日(火)～15日(金) (郵送必着) ※令和6年(2024年)3月10日(日) 午前9時～15日(金) 午後5時まで
	後期日程	令和6年(2024年)3月25日(月)～27日(水) (郵送必着) ※令和6年(2024年)3月23日(土) 午前9時～27日(水) 午後5時まで

注： 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続を行うことはできません。

他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

3 入学手続のながれ

入学手続期間中に入学手続サイトでの登録等を行い、郵送物を入学手続期間中に必着となるよう書留速達で郵送してください。

<1>入学手続サイトでの登録等

<https://web.tohoku.ac.jp/ef/>

※パソコン、スマートフォンからアクセス可能です。

※登録期間は1～2頁を確認してください。



ログインには、受験記号番号・入学手続サイト用パスワード(セキュリティコード)が必要です。入学手続サイト用パスワード(セキュリティコード)は出願時のパスワードと同じです。登録期間最終日は午後5時まで入力可能ですが、入学手続書類の郵送が間に合うように登録期間の早い時期に入力をお願いします。

事前に、登録に必要な学生証用写真データを準備するとともに、初修語履修希望(詳細は10頁参照)についても検討しておいてください。

入学手続サイトでは以下の登録等が必要になります。

① 合格通知書のダウンロード

入学手続期間中に必ずダウンロードし、4月まで大切に保管してください。

(入学手続期間を過ぎるとダウンロードできません。)

② 入学料の納付

※次に該当する方は、入学料を納付せずに、6～8頁記載の「入学料の免除」又は「入学料の徴収猶予」の手続きを行ってください。

- ・入学料免除又は徴収猶予希望者
- ・日本学生支援機構給付奨学生の採用候補者（予約奨学生＝高等学校在学中に採用候補者と決定された者）
- ・日本学生支援機構給付奨学生の在学定期採用・家計急変申請予定者

③ 学生基本情報等の入力

宣誓書、基本情報等、初修語履修希望

④ 写真アップロード

①の後、②から順に入力します。入力後確認画面で確認し次のメニューへ進んでください。③④については、入学手続締切日までの間であれば、修正・変更可能です。ただし、入学手続書類郵

送後に住所を変更したい場合や、登録画面で写真の変更が出来ない場合は、教務課全学教育実施係（8頁7(1)）までご連絡ください。

< 2 > 郵送（書留速達）

< 1 > を行ったらうえて、宛名ラベルをカラー印刷し角2封筒に貼り付け、入学手続書類（大学入学共通テスト受験票等）を同封のうえ、入学手続期間内に必着となるよう書留速達にて郵送してください。

※< 1 > 入学手続サイトでの登録だけでは入学が認められませんので、ご注意ください。

4 入学手続の方法

< 1 > 入学手続サイトでの登録等

入学手続サイト (<https://web.tohoku.ac.jp/ef/>) にガイダンスサイトを掲載していますので、確認し入力してください。

ログインには、受験記号番号・入学手続サイト用パスワード（セキュリティコード）が必要です。入学手続サイト用パスワード（セキュリティコード）は出願時のパスワードと同じです。

	項目	登録方法・注意事項
1	合格通知書のダウンロード	入学手続期間中に必ずダウンロードし、4月まで大切に保管してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・入学手続期間を過ぎるとダウンロードできません。 ・合格通知書は入学式会場へ入場する際に提示が必要となりますので、入学式の際は印刷のうえお持ちください。
2	入学料の納付	<p>■支払期限までに「手続きする」ボタンを押下し「支払い方法選択」画面で入学料の支払方法等を選択し、支払いを行ってください。</p> <p>【支払い方法】</p> <p>クレジット払い</p> <p>カード情報入力の画面に移りますので、そちらにカード番号など必要な情報を入力し決済を進めてください。</p> <p>コンビニエンスストア決済/銀行ATM(ペイジー)/ネットバンキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニエンスストア (https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/id=63) ・ 銀行ATM (ペイジー) (https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/) ・ ネットバンキング (https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/Internet_banking/) <p>(注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決済代行サービス（株式会社ペイジェント）による納付です。 ・入学料のほかにサービス利用料が必要です。サービス利用料は、支払い方法を選択後に確認できます。 ・支払い後は、支払い方法の変更や取り消しはできません。 ・各窓口の営業時間内であれば、土曜、日曜も含め24時間全国どこからでも納付できます。 ・振込用紙による銀行振込はできません。 <p>■入学料免除または入学料徴収猶予申請予定者、日本学生支援機構の給付奨学金採用候補者または在学定期採用・家計急変申請予定者は、入学料を納付せずに該</p>

		当箇所を選択してください。
3	学生基本情報等の入力	<p>以下について確認及び入力をしてください。</p> <p>○宣誓書の確認 宣誓書の内容を確認した後、「宣誓書に同意する。」にチェックを入れてください。</p> <p>○基本情報、住所・本人連絡先の入力</p> <p>英字氏名：入学後に付与される全学メールアドレスとして使用します。日本人学生はへボン式ローマ字の半角大文字で姓・名の順で入力してください。外国籍の学生は出身国で使用している順序に半角大文字でフルネームを入力してください（ミドルネームがある場合は、名の欄に入力してください）。</p> <p>Eメールアドレス：入学手続完了メールの送信先等として使用します。ドメイン指定などの受信制限を設定されている場合には、下記ドメインからのEメールが受信できるよう事前にパソコン・スマートフォンの設定を行ってください。【ドメイン：「@grp.tohoku.ac.jp」及び「@52school.com」】</p> <p>住所：「入学者の手引」等の送付先の住所として使用します。必ず受け取れる住所（AO入試：3月上旬、一般選抜：入学手続終了後）を記入してください。</p> <p>○初修語履修希望の入力 10頁の「東北大学全学教育科目 初修語の履修希望について」及び高度教養教育・学生支援機構言語・文化教育センターのホームページ (http://www.ccle.ihe.tohoku.ac.jp/initial-lang/) をよく確認したうえで、履修を希望する初修語を第1希望から第3希望まで入力してください。</p>
4	写真アップロード	<p>顔写真は学生証用として使用します。学生証は卒業するまで有効となるものですので、適切な写真例を参考に登録してください。</p> <p>なお、入学手続期間後は写真の変更ができませんので、注意してください。</p> <p><顔写真の撮影とデータ保存></p> <p>以下の例を参照し証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの）、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等で顔写真を撮影してください。</p> <p><顔写真の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ●カラー写真（白黒不可）、上半身、正面、無帽、無背景（白/青/グレーを基調とした無地の背景）の最近撮影したもの。 ●写真サイズは100KB以上、3MB以下であることが必要です。 ●写真データ形式は「jpg・png・gif」のいずれかであることが必要です。
5	宛名ラベル等のダウンロード・印刷	<p>①入学手続書類（大学入学共通テスト受験票）郵送用 カラー印刷した宛名ラベルを角2封筒（A4サイズが入る封筒）に貼り付け、入学手続書類等を同封のうえ入学手続期限内に必着となるよう書留速達で郵送してください。</p> <p>②返送用宛名ラベル（「入学者の手引」等送付用） A4サイズのコピー用紙に印刷のうえ、同封してください。 「令和6年度大学入学共通テスト受験票」をお返しするとともに「入学者の手引」等入学関係書類をお送りするためのものです。</p> <p><以下は該当する場合のみ印刷></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学料徴収猶予願 ・大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書【新規採用・申請者用】（新様式2）

< 2 > 郵送（書留速達）

宛名ラベルを貼り付けた封筒に下表の入学手続書類等を同封し、入学手続期間内に必着となるよう書留速達にて郵送してください。

入学手続書類等		注意事項
1	○ 令和6年度大学入学共通テスト受験票	<p>AOⅡ期合格者：大学入学共通テスト出願者は大学入学共通テスト受験票の写し（A4用紙にコピーしたもの）を提出してください。 ※期間内に手元に届かず締切日までに間に合わない場合は、遅れて提出する旨のメモを同封していただき、それ以外の書類を手続期間内にお送りください。受験票は届き次第書留速達でお送りください。 ※「受験票」の部分が入るようにコピーしてください。白黒印刷可。写真は無くても可。</p> <p>AOⅢ期合格者及び一般選抜合格者：大学入学共通テスト受験票（原本）を提出してください。 ※受験票を紛失した場合は、大学入試センターから再発行を受けてください。</p>
2	△ 入学料徴収猶予願又は大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書【新規採用・申請者用】（新様式2）	<p>該当者は、申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ同封してください。 なお、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書【新規採用・申請者用】（新様式2）を提出する場合は、申請書に記載の必要書類も併せて提出してください。</p>
3	○ 返送用宛名ラベル（「入学者の手引」等送付用）	<p>「学生基本情報等」を入力後、A4サイズのコピー用紙に印刷のうえ、同封してください。 ※返送先の住所が正しく番地まで記載されているか必ず確認してください。</p>

○：提出を要する △：該当者のみ提出

■入学手続完了後

入学手続期間終了後に、入学手続サイトに登録したEメールアドレスに入学手続完了メールをお送りします。その後、順次下記の書類を送付します。入学手続サイトの登録や提出書類に不備があった方には、期間中に連絡を入れます。特に連絡がなければ入学手続は滞りなく行われています。

AO入試Ⅱ期	令和6年3月上旬に入学手続サイトに登録した住所に「入学者の手引」等入学関係書類をお送りします。
AO入試Ⅲ期	令和6年3月上旬に入学手続サイトに登録した住所に、入学手続書類として同封していただいた「令和6年度大学入学共通テスト受験票」をお返しするとともに「入学者の手引」等入学関係書類をお送りします。
一般選抜	入学手続サイトに登録した住所宛てに、お送りいただいた「令和6年度大学入学共通テスト受験票」をお返しするとともに「入学者の手引」等入学関係書類をお送りします。

※AO入試Ⅱ期、AO入試Ⅲ期については、必着前日になっても手続書類が届かない場合、必着前日の夕方頃に、電話にて連絡させていただきます。

※入学手続締切日の翌日になっても「入学手続完了メール」が未着の場合は、教務課全学教育実施係（8頁7(1)）に電話で連絡してください。

※AO入試及び一般選抜（前期日程）については、「入学者の手引」等入学関係書類を普通郵便にて送付しますので、到着まで時間を要する場合があります。

5 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円（予定額）

- ① 入学料は、入学手続時に所定の手続方法により納付してください。（3頁4〈1〉2参照）
- ② 入学料の免除又は徴収猶予の希望者（日本学生支援機構給付奨学金「採用候補者」又は入学後の同機構給付奨学金申請予定者を含む）は、入学料は納付しないで、「6 入学料免除及び授業料免除等」を参照してください。

注：納付された入学料は原則として返還しません。

(2) 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額 ※）

- ① 授業料は、指定銀行の預金口座からの口座振替により、納付していただくこととなりますので、納付方法については、後日郵送する「入学者の手引」等入学関係書類の中でお知らせします。
- ② 授業料免除、徴収猶予又は月割分納の希望者、日本学生支援機構給付奨学金の採用候補者、大学入学後に同機構給付奨学金の在学定期採用・家計急変の申請を行う予定の者は、「6 入学料免除及び授業料免除等」を参照してください。

※納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

6 入学料免除及び授業料免除等

「大学等における修学の支援に関する法律」の公布・施行により、令和2年度より、大学等の高等教育機関に入学する学生を対象として日本学生支援機構の給付奨学金の支給や、入学料及び授業料の減免措置をおこなう、「高等教育の修学支援新制度（以下、修学支援制度）を実施しています。

原則、入学料及び授業料減免は、「修学支援制度」により実施します。修学支援制度による支援を受けるためには、日本学生支援機構の給付奨学生であることが必要です。

高等学校等からの推薦により日本学生支援機構給付奨学生の採用候補者となっている者、または、大学入学後に同給付奨学金の在学定期採用・家計急変の申請を行う予定の者は、採用により給付奨学金の支給区分に合わせた入学料免除及び授業料免除の対象となります。詳細は本学ウェブサイト参照し、手続きを確認してください。

<https://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/>

※4月入学・前期授業料免除は2月上旬、10月入学・後期授業料免除は8月上旬にウェブサイトで案内をお知らせします。

(1) 入学料の免除

高等学校等からの推薦により日本学生支援機構給付奨学生の採用候補者となっている者、または、大学入学後に同給付奨学金の在学定期採用・家計急変の申請を行う予定の者は、入学手続時には入学料を納付せず、入学手続サイト「入学料の納付」の「日本学生支援機構の給付奨学金予約採用者または入学後に申請を希望する方」にチェックを入れ、入学手続書類に必要書類を同封してください。

以下については、「**大学独自の入学料免除制度**」に申請ができる場合があります。

- 入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合、又は、入学者本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料を納付することが著しく困難であると認められる場合
- 災害救助法適用地域の被災学生のうち、入学前1年以内に学資負担者が死亡（行方不明）した場合、又は学資負担者の居住する家屋が損壊し、入学料を納付することが著しく困難であると認められる場合

上記、大学独自の入学料免除制度による入学料の免除希望者は、合格通知書を確認後、速やかに次の手続をしてください。

- ① 入学手続前に東北大学教育・学生支援部学生支援課経済支援係（以下「経済支援係」と略します）へ電話（022-795-4682）し、申請資格の有無、手続期間等を必ず照会してください。
- ② 照会結果に基づいて、申請しようとする場合は、入学手続時には入学料を納付せず、入学手続サイト「入学料の納付」の「入学料免除または入学料徴収猶予を申請する方」にチェックを入れてください。別途、入学料免除の申請書類は、提出期限までに簡易書留にて経済支援係（宛先：8頁7(2)）まで郵送してください。

注1：入学料を納付した場合は、原則、入学料免除を申請することができません。

注2：入学料免除申請者は、選考結果が出るまでの間、入学料の徴収が猶予されます。

(2) 授業料の免除

入学手続の際に「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書【新規採用・申請者用】（新様式2）」を提出する方は、この申請書で修学支援制度による授業料減免も併せて申請されます。

以下については、「**大学独自の授業料免除制度**」に申請ができる場合があります。

- 入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合、又は、入学者本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料を納付することが著しく困難であると認められる場合
- 災害救助法適用地域の被災学生のうち、入学前1年以内に、学資負担者が死亡（行方不明）した場合、又は学資負担者の居住する家屋が損壊し、授業料を納付することが著しく困難であると認められる場合

上記、大学独自の授業料免除制度による授業料の免除**希望者**は、令和6年2月上旬に授業料免除のウェブサイトをご確認ください。

<https://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/tuition.html>

授業料免除申請者は、選考結果が出るまでの間、授業料の徴収が猶予されます。

(3) 入学料の徴収猶予

経済的理由により入学料をその納付期限までに納付することが困難であると認められ、かつ、学業が優秀であると認められる者、その他やむを得ない事情があると認められる者について、願い出により入学料の徴収猶予が許可される制度があります。

入学料徴収猶予申請希望者は、入学手続時には入学料を納付せず、入学手続サイト「入学料の納付」の「入学料免除または入学料徴収猶予申請者」にチェックを入れ、入学手続書類に必要書類を同封してください。

(4) 授業料の徴収猶予又は授業料の月割分納

授業料については、経済的理由によって納付期限までに納付することが困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、願い出により授業料の徴収猶予又は月割分納が許可される制度があります。

授業料の徴収猶予又は月割分納希望者は、令和6年2月上旬に授業料免除のウェブサイトをご確認ください。

https://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/tuition_defer.html

(5) 各種奨学生

日本学生支援機構給付奨学生又は第一種（無利子貸与）・第二種（有利子貸与）奨学生の採用候補者（予約奨学生＝高等学校在学中に採用候補者と決定された者）及び入学後の日本学生支援機構や各種奨学生の申請手続等については、入学手続完了後に郵送する「入学者の手引」で案内します。

(6) 東日本大震災に伴う経済支援

東日本大震災で被災した学生を対象とした「給付奨学金」を実施することがあります。ウェブサイト <https://www2.he.tohoku.ac.jp/shogaku/> を参照し、手続を確認してください。

7 入学手続等に関する照会先（各問い合わせ先は、平日8：30～17：15まで）

(1) 入学手続全般

東北大学教育・学生支援部教務課全学教育実施係（電話 022-795-7558/7562）
〒980-8576 仙台市青葉区川内41
（東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター2階5番窓口）

(2) 入学料、授業料の免除等、奨学金

東北大学教育・学生支援部学生支援課経済支援係（電話 022-795-4682/7816）
〒980-8576 仙台市青葉区川内41
（東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター1階4番窓口）

(3) ユニバーシティ・ハウス、学寮

東北大学教育・学生支援部学生支援課生活支援係（電話 022-795-3943）
〒980-8576 仙台市青葉区川内41
（東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター1階3番窓口）

8 追加合格者への通知及び入学手続

追加合格を行う場合は、令和6年3月28日（木）以降、追加合格者に電話で連絡します。合格通知書は、入学手続サイトからダウンロードしてください。

注：本学に合格又は追加合格し、入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。他の国公立大学に合格又は追加合格し、入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

9 その他

(1) 入学辞退の手続

入学手続終了後に入学を辞退する場合（A0入試で合格した者を除く。）は、令和6年3月31日（日）17時（厳守）までに「入学手続等に関する照会先(8頁7(1))」に申し出てください。

なお、令和6年4月1日以降の入学辞退の申し出は、令和6年4月1日付けで本学の学生としての身分が発生しますので「退学」扱いとなり、「退学手続」が必要となります。その際は授業料を納付することになりますのでご注意ください。

(2) 行事及び授業

入学式は、4月3日（水）の実施を予定しています。詳細は本学ウェブサイトにてお知らせしますのでご確認ください。

また、各学部オリエンテーションを4月4日（木）、5日（金）に、授業は4月8日（月）から開始します。新入生健康診断は4月22日（月）～26日（金）、5月7日（火）～20日（月）に行います。新入生特別セミナーはオンデマンドで行います。

詳しい日程は、入学手続完了後に郵送する「入学者の手引」でお知らせするとともに、本学ウェブサイトに掲載します。

(3) 大学卒業（中退）者の既修得単位の取扱い及び外国語技能検定試験等における単位認定の取扱い

本学、他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学を卒業し、又は中途退学した者が新たに本学に入学した場合、当該大学及び短期大学で修得した授業科目及び単位数については、審査の上、本学において修得したものと認定することがあります。また、入学する前に学生が行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修（外国語技能検定試験等）で教育上有益であると各学部において認めるものは、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることがあります。

①既修得単位認定の申請手続きについて

既修得単位認定を希望する方は、3月6日（水）以降に申請書類を請求し、手続きの流れ及び詳細日程を確認してください。申請書類の請求方法は、3月以降「入学者の方へ」のサイト（URL：<https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/nyugaku.htm>）で確認してください。

I. 申請書類を教務課全学教育実施係あてに請求する。【令和6年3月6日（水）～】

※申請書類には2種類ありますので、請求時に必ず指定してください。

他大学で修得した単位を申請する場合・・・様式1（他大学出身者用）

本学で修得した単位を申請する場合・・・様式2（本学出身者用）

II. 申請書類を教務課全学教育実施係より受領し申請手続きの詳細を確認する。

III. 既修得単位認定審査の申し込みを行う。【令和6年3月27日（水）17時まで】

※認定希望者は必ず審査申し込みを行ってください。申し込み方法は申請書類で確認してください。

IV. 審査会【令和6年4月1日（月）】に出席する。

※申請には下記の書類が必要となりますので、あらかじめ準備しておいてください。

a 成績証明書

b 授業概要（認定を受けようとする授業科目の内容が記載されているもの）

c 卒業（修了）証明書又は退学証明書

②外国語技能検定試験等における単位認定の取扱い

経済学部及び理学学部については、外国語技能検定試験「英検、TOEFL®テスト、IELTS、独検、Goethe-Zertifikat、ÖSD、仏検、DELE、SIELE Global」などで認定又は一定基準の点数を得た場合、本学では、その成果を本学における外国語授業科目の履修とみなして、単位を認定しています。単位認定の基準及び申請手続等については、入学した後に「入学手続等に関する照会先」（8頁7(1)参照）に照会してください。詳細は、3月以降「入学者の方へ」のサイト（URL：<https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/nyugaku.htm>）で確認してください。

(4) 麻しん（はしか）ワクチン接種について

平成 19 年には全国の大学で麻しんが流行し、キャンパス閉鎖になる等大きな社会問題となりました。このような流行防止のため、東北大学に入学するにあたって、麻しんワクチンの追加接種（乳幼児期も含めて 2 回目の接種）がお済みでない方は、入学前に最寄りの医療機関で追加接種（任意接種）を受けておくことを強く推奨いたします。

ただし、麻しん罹患歴のある方や、ワクチン接種歴が 2 回ある方は、ワクチン接種の必要はありません。また、医学的理由で接種できない方も、接種の必要はありません。

(5) 個人情報の取扱い

入学手続きに関して取得した個人情報は、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき取り扱い、当該利用目的以外には使用しません。

東北大学における個人情報保護に関する基本方針(プライバシーポリシー)

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/site/siteinfo/01/siteinfo0103/>

(6) 東北大学全学教育科目 初修語の履修希望について

初修外国語とは、大学に入学して初めて学ぶ外国語のことであり、本学に入学する学生は、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語の 6 つの外国語から 1 つを選択し、必修科目として履修します。日本語を母語としない留学生は日本語も履修できます。

初修外国語は、入学手続きサイトから入学者の方に提出いただく履修希望を用いてクラス編成を行います。各言語の紹介を以下に簡単に記載していますが、より詳しい説明や授業内容に関しては、本学の高度教養教育・学生支援機構言語・文化教育センターウェブサイトの各言語のページにも紹介されていますので、「初修語履修希望」の登録にあたってはそちらも必ず参照してください。

高度教養教育・学生支援機構 言語・文化教育センター

<http://www.ccle.ihe.tohoku.ac.jp/initial-lang/>



- ・入学手続きサイトでは、履修を希望する初修語について、第一希望から第三希望まで選択し、登録していただきます。できる限り希望順位の高い初修語を履修できるように調整します。必ず第三希望まで重複がないよう登録してください。
- ・希望語種が専門分野の選択に関連しているなど、特別な事情がある場合は、その旨を「特に配慮を求める理由」記入欄に入力してください。初修語のクラス編成を行う際に配慮することがあります。
- ・初修語（日本語を除く）は大学に入学して初めて学ぶ外国語を想定しているため、当該言語を日常的に使用している国で生活をした経験があり、基礎知識を十分有していると判断した場合や、高校などで基礎的な学習経験がある場合は、その言語での基礎初修語の履修を認めない場合があります。もし、既習の言語や居住経験のある国の言語の履修を希望する場合は、「特に配慮を求める理由入力欄」に必ずその旨を記し、初回の授業時に担当教員に相談して下さい（その場合、既修者向けクラスの履修を推奨する、などの可能性があります）。
- ・初修語のクラス分けの結果は、4月4日（木）昼頃に東北大学全学教育ホームページで発表するので、必ず確認してください。
- ・入学手続き終了後の希望言語の変更は原則認められませんので、よく確認の上登録してください。やむを得ない理由により指定された語種や初修語のクラス変更が必要な場合、さらに別の初修語も履修したい場合（計 2 種の初修語の同時履修）は、初回授業以降に授業担当教員に相談してください。

※東北大学全学教育ホームページ URL : <https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku.html>

【ドイツ語】

ドイツ語は英語と同じ西ゲルマン語群に属する言語で、ドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタイン、ルクセンブルクなど多くの地域で話されており、ヨーロッパの中では英語より多くの母語話者を持ちます。法学、医学、文学、哲学、音楽など様々な分野で使われており、英語に次いで学術論文の多い言語でもあります。専門分野の原典や論文の講読に、ドイツ語の知識は大いに役立つでしょう。また、本学は20余りのドイツ語圏の大学と交流協定を結んでおり、留学の機会もあります。

ドイツはヨーロッパの政治・経済の中心として国際社会において大きな存在感を示していますので、ドイツ語を学びながらドイツ語圏の社会と文化に触れることは、グローバルな視点を養う意味でも大いに役立つでしょう。

【フランス語】

フランス語はフランスやヨーロッパのみならず、世界約30国の公用語として使用されている重要な言語であると同時に、英語に非常によく似ており、学びやすいことばでもあります。

近年のアフリカの人口増加・経済発展に伴い、益々その重要性は増えています。文学や西洋美術・哲学・社会学・国際経済・国際法などを学びたい方はもちろんですが、理学・農学・工学・医学などの分野などでも幅広く使える言語です。

また理学部と工学部にはダブルディグリープログラム(フランスの提携校に留学することによって、東北大学とフランスの大学の修士レベルの学位を同時に取得するという制度)があります。プログラムの概要や奨学金制度など詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/graduate/doubledegree/>

【ロシア語】

ロシア語はインド・ヨーロッパ語族スラヴ語派の言語で、母語話者数に第二言語としての話者数を加えると世界で4番目に大きな言語です。ロシア連邦とベラルーシのほか大国カザフスタンを含む中央アジアとコーカサスという古い歴史を持つ両地域を含む広大な旧ソ連諸国で共通語として話されており、国連公用語の一つでもあります。キリル文字を使用するのでまず文字の習得に時間がかかり、その次には語形変化が多く英語とかなり異なる文法に戸惑います。しかしその反面語順の自由度が高く、また会話では必要な語以外は省略するのが当然であるなど、使いやすい言語でもあります。ロシア語圏は日本のすぐ北から始まり、はるか西方でポーランド語圏やルーマニア語圏と接しています。ドストエフスキーやトルストイ、メンデレーエフもパヴロフもチャイコフスキーもショスタコーヴィッチも皆ロシア語で話し、書いた人々です。ロシア語が学ぶ価値のある言語であることは明らかでしょう。

【スペイン語】

スペイン語は、スペインやメキシコ、中南米の多くの国や地域で話されており、母語話者数はおよそ4億5000万人ほどだと言われています。それ以外にも、国際連合で6つの公用語のうちの1つに採用され、インターネット上でも英語や中国語についてスペイン語が多く使われています。スペイン語はラテン語から派生した言語なので、同じラテン語起源のフランス語やイタリア語、ポルトガル語なども学びやすくなります。

【中国語】

中国語は、中国・台湾・シンガポール等の国や地域で公用語として14億を超える人々が使用し、また国際連合での公用語にもなっています。中国はすでに米国に迫る経済力を有しており、中国語の習得は、より多くのビジネスチャンスやキャリアアップにもつながります。政治・経済・文学・歴史等の人文科学系はもちろん、近年では学術文献や特許取得などに関連して、医歯薬理工農などの理工系の分野でも急速に必要性が高まっています。

本学では、基礎中国語の全クラスで、オンデマンド授業動画とスマートフォン練習用アプリによるインプット学習、対面授業によるアウトプット学習を組み合わせ、ブレンディッドラーニングを実施しています。さらにその基礎の上に立って、中上級の展開中国語コースが設けられています。詳細については、言語・文化教育センターのウェブサイトから、中国語のページ

(<http://www.ccele.ihe.tohoku.ac.jp/section/chinese/>) を参照してください。

【朝鮮語】

朝鮮語(韓国語)は、朝鮮半島全域で使用され、その語彙の半分以上は漢字語と関連し、日本人にとって最も学びやすい外国語の一つです。例えば、「理由、家具、波濤、地下、家族、都市、土地」などの漢字は、同じ意味を持つばかりか発音も非常に似ています。それ以外にも類似の表現や文法事項が多く、言語のみならず文化や社会に関するさまざまな事柄も理解しやすく、勉強すればするほど面白くなる言語です。一方で、日本と一番近い国でありながらも、異なる点も多く、異なる価値観や思想をより深く理解するための基礎的なツールとしても、有益です。

【日本語】(日本語を母語とする者、もしくはこれに準ずる者は選択できません)

この授業は日本語上級以上の能力がある外国人留学生を対象としており、日本語を母語とする者、もしくはこれに準ずる者は選択できません。大学での勉学や友だちとの付き合い、また街で出会う人々とのやり取りのような場で役に立つ、高度な日本語について学び、読み、書き、聞き、話す能力を身に付けることを目的としています。日本語でのレポートの書き方や敬語の使い方など、実践的な授業を行います。

<問い合わせ先>

初修語の履修希望に関して不明な点があるときは、担当係へ連絡してください。

担当係 東北大学教育・学生支援部教務課全学教育企画係

TEL : 022-795-7578 fax : 022-795-7555

(7) 個人用パソコンの準備について

本学では、履修する授業科目の登録手続きや成績の確認、授業計画（シラバス）の閲覧、講義資料の配付、課題レポートの作成と提出、その他各種連絡など、日常的な学習活動においてパソコンを利用しています。

教員から授業においてパソコンを利用する旨の指示があった際には、パソコンを持参できるように準備をお願いします。

準備いただくパソコンの仕様（スペック）は、全学教育ホームページの「学生の持ち込みパソコンの教育活用について」で確認してください。入学する学部・学科（系・専攻等）の指定する内容が異なる場合がありますので、併せて必ず確認して下さい。

また、経済的な事情等によりパソコンの準備が困難な方には長期貸出制度を用意しています。

「学生の持ち込みパソコンの教育活用について」

https://www2.he.tohoku.ac.jp/zengaku/zengaku_byod.html

（東北大学→教育・学生支援）

●2024年度学部入学生用個人用パソコンの準備について（スペック等）

●個人用パソコンの準備にかかるQ&Aを掲載しています

お問い合わせの前に一度Q&Aでご確認ください

●お問い合わせ先

【個人用ノートパソコン仕様（スペック）及びソフトウェアに関すること】

東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター

メールアドレス：byod-kawauchi@grp.tohoku.ac.jp

電話：022-795-7622

【経済的事情による長期貸出支援制度に関すること】

東北大学教育・学生支援部学生支援課経済支援係

電話：022-795-7816

【上記以外に関すること】

東北大学教育・学生支援部教務課全学教育実施係

電話：022-795-7558/7562



※ 推奨スペックを満たすパソコンは、東北大学生協生活協同組合（新生活サポートセンター）でも取り扱っていますので、参考にしてください。下記URLホームページ内の「東北大学の推奨スペックを満たすパソコンに関する情報はこちら」のバナーよりご確認ください。



<https://newlife.u-coop.or.jp/tohoku/>